



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページにバックナンバー掲載中

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

6月号 JUN 2022

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



5月20日となみ野農協様玉葱圃場

タマネギハ ナクテハナラヌ メイワキヤク

新型コロナウイルス感染症で罹患された皆様、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、医療従事者の皆様、病院関係の皆様、新型コロナウイルスの感染拡大防止にご尽力されている皆様に心より感謝を申し上げます。

「玉葱高騰」の声が報道でも聞かれます。先日、日課にしている散歩の途中で井戸端会議をしている主婦の方達のお話が聞こえてきてしまいました。内容は「玉葱が高い」ことについてです。「今まで4つも5つも入って150円くらいだったのに、今は1個で100円もする。でも玉葱は買わないわけにはいかないのよね・・・」と。このマダムたちの会話が今の相場が続いている理由の一つであるように思いました。

玉葱は脇役であるはずと言われていました。主役になれないよねと。今年私自身実感するのは、玉葱は脇役ですが、なくてはならない名脇役なのだということです。我々日本人の食生活において玉葱は決して派手ではありませんが絶対に欠かすことのできない食材となっているということを実感しています。無いと困るから1個100円でも買わないといけない、つまり売れるのだと思います。

相場商品というのは、品物の需給バランスによって価格が上下します。現在の玉葱相場は昨年来高値で推移しているわけですが、府県産が出てきた現時点では供給量と価格が見合っていないように感じています。つまりは玉葱の価値が以前より上がっているのではないかと感じています。玉葱が無くてはならない野菜として再認知されているのではないのでしょうか。

玉葱を取り扱う事業者として、玉葱の価値再確認及び向上はうれしくあるのですが、現在のこの玉葱不足は二度と勤弁...というのが正直なところですが。しかし、日本人に愛され、無くてはならない素晴らしい商材を取扱いさせて頂いていることを大変ありがたく思っております。

今後の玉葱の状況ですが、国産品は先述の通り相場が強い状況で8月上旬までは推移していく予想です。府県産地も6月2週目頃から中晩生種に切り替えとなります。主力産地も出荷数量少ないながらもある程度は安定して出荷があることと思います。また、北陸・東北産地も6月下旬から本格的に出荷が始まります。梅雨の関係で収穫作業がどの程度順調に進むかにも左右されますが、ある程度の数量は流通する見込みです。しかしながら高値相場が続いていることにより、各産地相当量前進出荷しているように思いますので、7月以降の数量については少ないと考えています。当社も契約出荷していただいている産地様に感謝し、お客様と情報共有しながら進めて参ります。

マルト商事は玉葱のように、派手ではないですが、無くてはならない企業として、お客様から必要とされる会社になりたいと思います。そして今、皆様のお役に立てるように全社一丸となって進んで参ります。今月もご愛顧のほど宜しくお願い致します。

“食”の分野で役立つマーケティング情報

私の高校時代の部活の先輩のひとりが若手のゴルファーをサポートする活動をしています。ご存知の方も多いかもかもしれませんが、プロゴルファーの世界は本当にキビしくて、プロテストに合格するのほんの一握りですし、たとえ合格したとしてもプロゴルファーとしてゴルフで食べていけるのも本当に数えるほどだそうです。そんなキビしい世界ですが、それでも多くの若者がプロを目指して頑張っています。そんな若者に少しでも多くの実践でのトレーニングとなる試合の機会を作るということで、彼らを支援するというものです。もちろん営利活動ではありませんので、台所事情は苦しく、最近会った時にこの先輩から「どこかスポンサーとしてサポートしてもらえる会社があればぜひ紹介してほしい」と頼まれました。（もし若手ゴルファーの支援についてご興味がありましたら、ぜひご連絡をお待ちしています！！）

そこで先日、興味を持っていただけた会社の社長に「若手ゴルファーの支援」について内容をひととおり説明をしたあとに、「単なるスポンサーではなく、若手社員がそれに参加して互いに向上できる研修のようなものができたら面白いかもしれないので、そういうものを考えてほしい」とリクエストをされました。私も若手ゴルファーの支援というような、仕事とは違うスポーツというものを通じて向上できるというアイデアに興味を持ち、どんなことができるかを考えてみることに。

いくつか参考となる本を読んでいくうちに見つけたのが、様々なスポーツのトップアスリートの育成に使われている「HACモデル（Holistic Athletic Career model）」という理論です。これはアスリートが競技の才能を生まれ持った若手からトップレベルの選手に成長するまでの多面的な“過程”に着目して、アスリートの“行動改善”に働きかける概念です。つまり、アスリート個人の育成や強化のためには競技面だけを改善しても、彼らの成長を最大限に伸ばすことはできないということです。もうすこし具体的にいうと、スポーツ以外に興味がなく他に何もしていないアスリートよりも、学業を同時に進めているアスリートの方が選手寿命も長く、たとえアスリートとしてのキャリアが成功しなくても、その後のキャリアにとってもよい準備ができるとも言われています。また、周囲の人との関係をうまくできるといった、対人スキルを身につけていることも、選手としての成長にはとても重要なことだそうです。

新型コロナウイルス感染症で経済のあり方や社会の不安定さなど、今までの日常が大きく変わってきています。そういう予想が困難な難しい時代に企業が成長するには、これまでの以上に人材の育成が重要となります。スポーツの「HACモデル」はこういう時代のビジネスの育成の現場にとっても有用な理論ではないかと考えています。次回はもう少し詳しくこの理論について書いてみたいと思います。



木下康司 きのしたこうじ
1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。
デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組んでいる。
<http://www.kino-company.com>

6月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	府県各産地	中晩生種の遅れの影響で入荷が中旬まで少ない状況です
輸入黄玉葱	NZ 西オースト	ご要望頂ければ手配をさせていただきます(スポット案内)
中国剥き玉葱	山東省	入荷は落ち着いてきました。例年より高値推移です
国産赤玉葱	淡路他	入荷遅れ 6月中旬からの見込みです
輸入赤玉葱	中国 AUG	中国産 AUG産 スポット対応となります

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315